

『検温アラームシステム』

DS-43Sシリーズ

取扱説明書



P03 製品スペック

P04 各部名称

P05 システムの概要

P06 サーモグラフィー画面の見方

P07 かんたん使用方法

P08 セットアップ / 起動方法

P09.... サーモグラフィーカメラの設定方法

P11 システムの終了方法

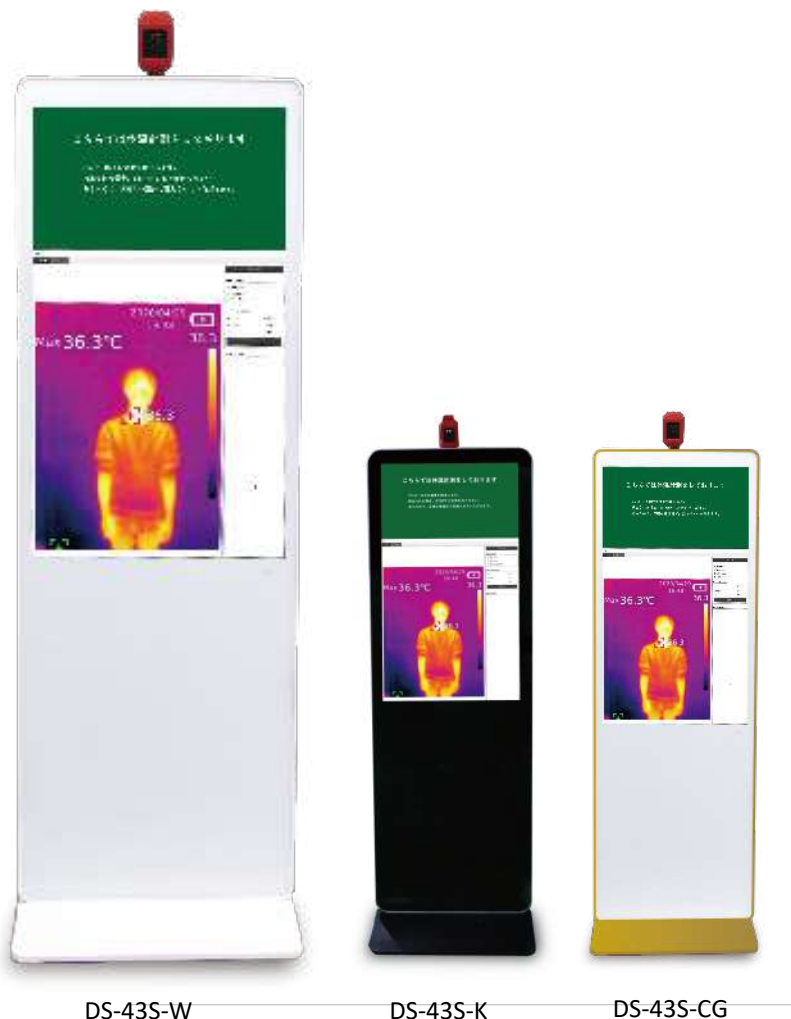
P12 困った時は

P16.... 温度が高く測定されてしまう時

P17.... 意図しない警告が出てしまう時



■ 検温アラームシステム DS-43Sシリーズ



DS-43S-W

DS-43S-K

DS-43S-CG

製品本体

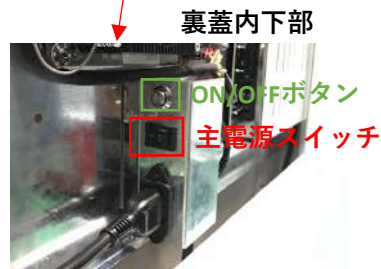
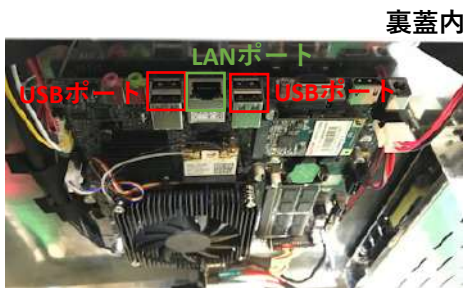
製品本体

製品型番	DS-43-K,W,CG
サイズ	600(W)x400(D)x1800(H)
重量	50 kg
モニターインチ数	43 inch
屋内専用	

サーマルカメラ

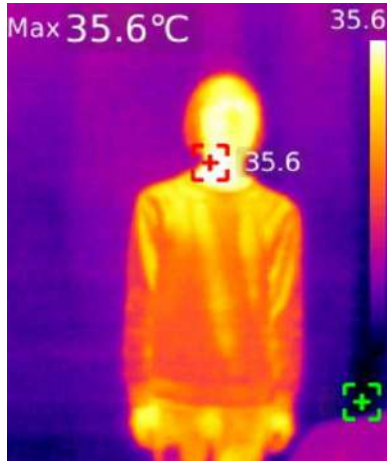
製品型番	THC-16
赤外線解像度	160×120
ピクセルサイズ	12um
赤外分光法の帯域幅	8~14um
視野 (FOV)	56° (H)x42° (V)
温度範囲	30° C ~ 45° C
測定精度	±0.1° C 1m
応答時間	≤500ms
画像モード	サーマル画像、通常ビデオ画像、混合画像

■ 検温アラームシステム DS-43Sシリーズ

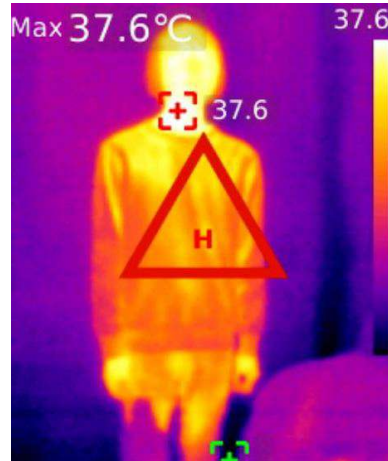


システムの概要

検温アラームシステムは、サーモグラフィー画像から表体温を測定し非接触でリアルタイムスクリーニングが可能です。画面左上には、現在測定されている測定最高温度が表示されます。最高温度が設定温度を超えると自動的にアラームが起動します。



通常画面



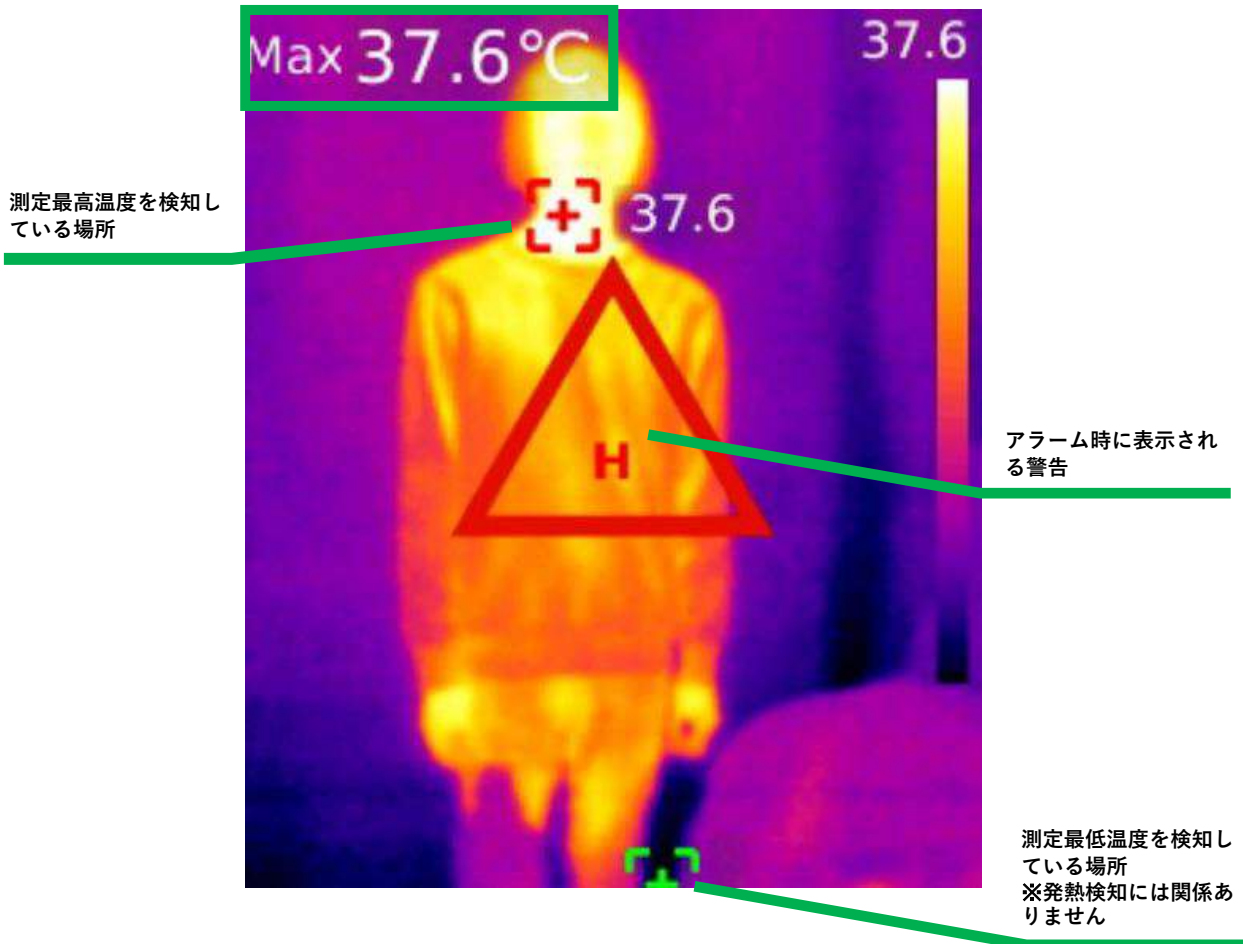
アラーム時画面

本製品は、物体から出る熱放射の強度に反応して表体温を計測しています。カメラからの距離 1 m で精度 $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ で測定することができます。



- ・本製品で測定されるものは体表温であり、一般的な体温計で計測される体温とは異なります。また計測によりウィルスの感染を判断するものではありません。
- ・本製品によるスクリーニングで発熱の疑いが出た場合、体温計での再検温を推奨いたします。発熱が確認された場合別途、医師の判断を仰いでください。
- ・本製品は、薬事認証を取得した医療機器ではありません。
- ・本製品を用いた診断などの医療行為にはご利用頂けません。

測定画面内の 最高温度



測定画面内の最高温度とは、撮影画面内のアラームが反応している場所となります。（**(+)** 部分の温度）

設置編

- STEP 1 カメラの電源をONにし、起動を確認する。
- STEP 2 本機を電源に接続し、本体の主電源スイッチを入れる
- STEP 3 ON/OFFボタンを押しアプリケーションの起動を確認する。
- STEP 4 サーモグラフィーカメラの温度校正をする。

撤去編

- STEP 1 ON/OFFボタンを押しシステムをシャットダウンする。
- STEP 2 カメラの電源を切る。



セットアップ / 起動方法

STEP 1 電源を入れる



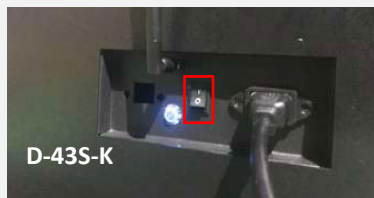
カメラ電源

写真のボタンをカメラの電源をお入れください。

注意

カメラが起動するまで本機のシステムを立ち上げないでください。

STEP 2 本機の電源をコンセントに接続しスイッチを入れる



D-43S-K



D-43S-W,CG

本機の電源をコンセントに接続し、主電源スイッチをお入れください

D-43S-Kの場合

本体裏下部の主電源スイッチをONにします

D-43S-K以外の場合

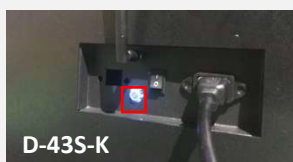
本体裏蓋を鍵で開け主電源スイッチをONにします

注意

急な傾斜、段差がある場所には本機は設置できません。

本機は屋外では使用できません。

STEP 3 システムを立ち上げる。



D-43S-K

※電源が入ると青光します



D-43S-W,CG

※電源が入ると青光します



D-43S-Kの場合

本体裏のON/OFF ボタンを押し本体のシステムを立ち上げます。

D-43S-K以外の場合

本体裏蓋内のON/OFFボタンを押しシステムを立ち上げます。

システムの起動には約3分ほどかかります。自動的に必要ソフトウェアが立ち上がります。

画像のようにソフトウェアが立ち上がったら測定可能です。

※文章（緑画像）部分の画像が変更されている場合がございます。

注意

本体起動時、windowsの更新が行われる場合がございます。

更新が終わり、再起動するまでお待ちください。

サーモグラフィーカメラの設定方法

以下の設定はカメラの操作キーで行なってください。

キャリブレーション（温度校正）

測定温度をより正確に調整するため、体温計で計測した体温と同じになるように以下の方法でキャリブレーションを行ってください。



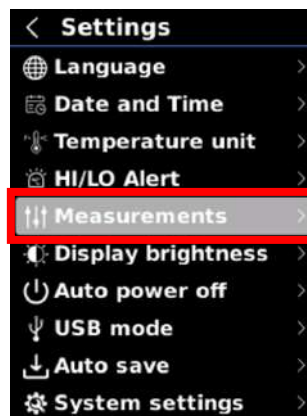
1. 体温計で基準体温となる人の体温を測定します
(体温計は非接触型が推奨です)



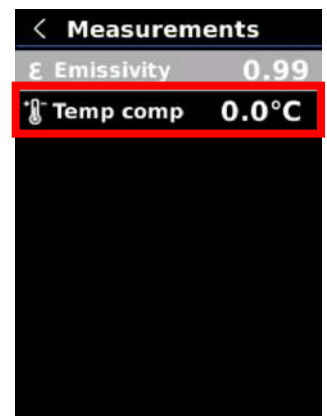
2. 検温アラームシステムで体温を測定し、体温計で測った基準体温との誤差を出します。測定距離は1mほどが推奨です。



3. カメラ本体のSETボタンを押し
Settingsを選択する



4. Measurementsを選択する



5. Temp compに体温計で計測した温度と本機に表示された温度の誤差を入れ調整してください
例；体温計での測定が36.5°C、本機での測定が36.3°Cだった場合、0.2°Cと設定ください。再び計測し本機での測定結果が36.5°Cとなれば完了です

測定温度が異常に高く表示される場合や、アラームが止まらない（検知が続く）場合は **P16.17**

サーモグラフィーカメラの設定方法

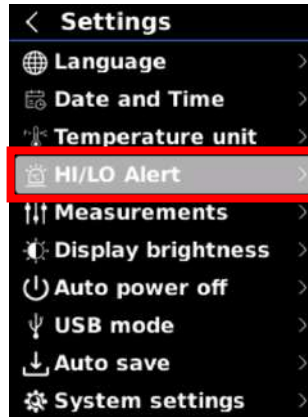
以下の設定はカメラの操作キーで行なってください。

検知温度の変更方法

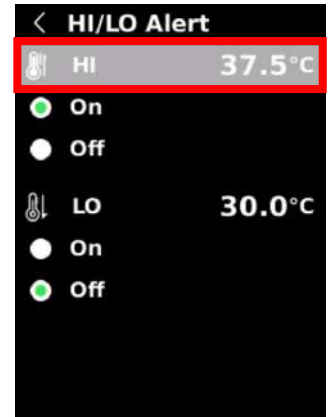
アラームが起動する温度を変更したい場合、以下の手順で設定を変更してください。



1. 本体のSETボタンを押し
Settingsを選択する



2. HI / LO Alertを選択する



3. HI の温度を検知したい温度
に設定する。LOはOFFのまま

測定温度が異常に高く表示される場合や、アラームが止まらない（検知が続く）場合は **P16.17**

色の変更方法

標準の設定を変えたい場合、以下の手順で設定を変更ください。



1. カメラ本体のSETボタンを押し
Paletteを選択する



2. パレット内にあるカラーバー
から選択しSETボタンを押す

システムの終了方法

STEP 1 本体の電源を切る。



DS-43S-Kの場合

本体裏の青く光るON/OFF ボタンを押し、システムをシャットダウンします。

DS-43W,CGの場合

本体裏蓋を開け、青く光るON/OFFボタンを押してください。シャットダウン画面が表示された後、モニターの画面が消えたことをご確認ください。



必要であれば主電源スイッチをお切りください。

注意

シャットダウンが完了するまで電源スイッチを切らないでください。

STEP 2 カメラの電源を切る



カメラの電源ボタンを長押しして、カメラの電源を切ります。

カメラが起動しない

1.製品本体が起動していないか確認する

カメラより先に製品本体が起動しているとカメラの起動ができません。本体システムをシャットダウンした後、カメラの電源を入れてください。

2.カメラの充電を確認する

カメラの充電が切れている可能性があります。カメラを本体USBポートに接続した状態で、本体システムの電源を入れ充電を行なってください。充電が開始されるとカメラ本体の画面に充電マークが表示されます。5分ほど充電を行った後、本体システムをシャットダウンし、カメラが起動するのを確認してください。

モニター画面がつかない

1.モニターの電源がついているか確認する

本体電源が抜けている、もしくはコンセントから抜けている可能性がございます。ご確認ください。つかない場合はサポートにご連絡ください。

アプリケーションが立ち上がらない

1.機材の再起動

システムをシャットダウンし、カメラの電源を落とします。1分後、カメラの電源を入れ直し、ON/OFFボタンでシステムを起動し、アプリケーションが立ち上がるまでお待ちください。それでもつかない場合は、サポートにご連絡ください。

画面の表示がおかしい

1.機材の再起動

システムをシャットダウンし、カメラの電源を落とします。1分後、カメラの電源を入れ直し、ON/OFFボタンでシステムを起動し、アプリケーションが立ち上がるまでお待ちください。それでもつかない場合は、サポートにご連絡ください。

サーモグラフィー画像が画面に出ない

1.機材の再起動

システムをシャットダウンし、カメラの電源を落とします。1分後、カメラの電源を入れ直し、ON/OFFボタンでシステムを起動し、アプリケーションが立ち上がるまでお待ちください。
それでもつかない場合は、サポートにご連絡ください。

アラームがならない

1.機材の再起動

システムをシャットダウンし、カメラの電源を落とします。1分後、カメラの電源を入れ直し、ON/OFFボタンでシステムを起動し、アプリケーションが立ち上がるまでお待ちください。
それでもつかない場合は、サポートにご連絡ください。

システムがシャットダウンできない

1.ON/OFFボタンを長押しする。

ON/OFF電源ボタンを長押しし、強制終了してください。それでも消えない場合は、サポートにご連絡ください。

オプションアラームが反応しない



ワイヤレスパトランプ ワイヤレス送信機

1.電源が入っているかご確認ください

PC収納ボックス内にあるワイヤレス送信機がPCにUSBで接続されているかご確認ください。接続されていない場合接続ください。

ワイヤレスパトライト、の電源が接続されているかご確認ください。接続されていない場合接続ください。ワイヤレスパトライトは送信機の電源が正常に作動している場合、電源に接続すると一度反応します。

2.カメラとワイヤレス送信機が接続されているかご確認ください

カメラから出ているコネクタとワイヤレス送信機が接続されているかご確認ください。



ワイヤレス送信機

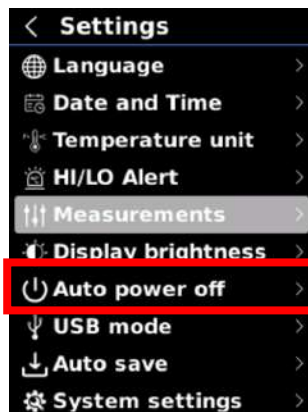
カメラからの接続コネクタ

それでも反応しない場合はサポートにご連絡ください。

カメラの電源が勝手に落ちてしまう

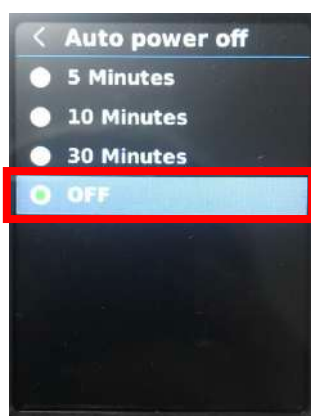
1.カメラの設定を確認する

自動的にカメラのパワーがオフされてしまう場合 Auto power offが設定されていることがあります。以下の方法でカメラの設定を見直してください。



1. カメラ本体のSETボタンを押し Settingsを選択、SETを押す

2. Auto power off を選択しSETを押す



3. OFFを選択しSETを押す

4.画像のリターンマークを3回押しして設定バーが出ていない撮影画面に戻します

それでも消えてしまう場合は、サポートにご連絡ください。

温度が高く測定されてしまう時

測定している温度が平均的に高く（低く）なってしまう、意図していない警告が出てしまう時はこちらを参考に温度校正、設置位置の確認を行ってください。気温の変化や太陽光の差し込み方は季節によって変化し校正温度のズレや、太陽光の差し込みによる局所的な温度変化が想定されます。

温度が高く（低く）測定されてしまう

1. 温度校正を行う

周囲の温度が変化すると前回校正した基準温度とズレが生じ、正しく測定できない場合がございます。P09を参照して温度校正を行ってください。本書では起動時毎に温度校正を行うことを推奨しています。

2. 測定距離を確認する

サーモグラフィーカメラの温度測定方法の特性上、カメラから離れば離れるほど温度に誤差が生まれます。推奨測定距離は1mです。

3. 赤い十字のスポットがどこに反応しているか確認する

夏場、暑い外部から移動して本機で測定した場合、外気温で頭部（特に髪の毛）や暖められた衣服等（黒色の衣服や肩口）に反応してしまう場合がございます。それらに反応してしまう場合、設置位置の調整や測定ルールを設定し衣服が冷めてから測定できるようにご注意ください。例、扇風機や送風機の前で頭部、衣服を冷ましてから測定するなど。



赤い十字スポット
最高測定温度

直射が当たっている地面に反応している様子

45°C以上の温度を測定の場合空欄になります。もし温度が出なかった場合はガラス越しの高温の床や光に反応している可能性があります。

意図しない警告が出てしまう時

サーモグラフィーは物体から出る熱放射の強度に反応して温度を計測しています。カメラの撮影範囲に熱い物体、太陽が直射している白色、または灰色物質等には反応します。それらの物がカメラの撮影範囲に入らないように設置位置をご調整ください。
例：蛍光灯、カイロ、屋外の自動車、壁等
以下の手順で警告元を特定し、設置位置を調整して下さい。

画面内のスポットを探す

赤い十字のスポットが画面内の最高温度を示している場所です。画面内のどこにスポットがあるかご確認ください。もし、モニターに映っていなかった場合、カメラの背面画面でスポットをご確認ください。人に当たって反応している場合、P16をご参照ください。場所に当たっている場合、温度が高い物体が画面に写り込んでいる可能性がありますカメラの向きを変え設置位置をご調整ください。



赤い十字スポット
最高測定温度

直射が当たっている地面に反応している様子

45°C以上の温度を測定の場合空欄になります。もし温度が出なかった場合はガラス越しの高温の床や光に反応している可能性があります。

よくある反応箇所



蛍光灯

測定温度が42°C前後になります。



ガラス張りのエントランス

ガラス張りの場所に設置の場合、外部の光に反応してしまう場合がございます。また、季節によっては日の射し方が変わる恐れがあり推奨されません。定期的に位置を調整ください。



暖房の下

暖房に温められたものに反応してしまう場合がございます。